

中小企業を活性化し、成功を探求する経営誌

理念と経営

CORPORATE
PHILOSOPHY

1

2015 January

特集

中小企業の職場で膨らむ100の夢

リーダーシップを身につける対話術 松居基夫

巻頭対談 志を貫く—創造の経営

「自律」と「思いやり」を見失ったら日本の明るいシナリオは描けない

一般財団法人
日本総合研究所理事長

寺島実郎

VS

神戸大学
名誉教授

野尻武敏



特集 中小企業の職場で膨らむ一〇〇の夢

全国一〇〇社・一〇〇人の意識調査

日本の産業のすそ野を支える

「人間力」の光彩

ノンフィクション作家 **細井勝**

取材協力 江村敬司／加藤年男／神内治／川島路人／富松由紀／中道大介／中山秀樹／松本康伸

る調査結果になったのは、小規模だからこそ堅持できる商品やサービスの個性、優位性に自信を抱いている中小企業が少なくないからに違いない。「自分」の力と可能性を知るがゆえ、世界にたった一つの個の力を信じて前へ進む逞しさ、それこそが中小企業を明るく未

来へ導く武器なのだろう。

不安があるからこそ、一人ひとりが何をすべきなのか。一つひとつの不安は、その進むべきベクトルを探る大きなヒントになっていくことだろう。

「最も関心のあることとは何ですか？」

驚くほど多彩な趣味、 伸びやかな心模様が現場の糧に

「今、あなたが最も関心のあることは何ですか」という設問に対する回答は、十人十色の内容となり、自分や家族のこと、仕事のこと、世の中の動きなど広範囲におよんだ。

営業課長やマネージャー職は重い職責ゆえか仕事への関心の度合いが大きく、第一の設問項目「仕事の目標」とも連動した形で、仕事に対するそれぞれの向き合い方を改めて掘り下げる結果となった。

製品の不具合の低減を仕事の目標に置いている部品メーカーの品質保証部課長は、「会社全体のモチベーションをどうやって向上させるか」という一点に強い関心を抱いていると答えた。老舗のおでん屋で味の伝統を頑なに守ることに使命感を燃やす料理長は、ファストフードや素性のわからない食材が出回る昨今の「食」の乱れが気になってしかたがないと訴えた。

他の多くの社員は仕事を離れた関心事を挙げた。子どもの成長や子育て、教育、健康などへの関心が圧倒的に高く、家族を思いや

る父親や母親の温かな心が伝わってくるようだ。机の前にわが子の写真を飾り仕事に気合を入れる社員もいるのだから。

関心事として趣味を挙げた人も多かった。ランニング、マラソン、ゴルフ、剣道、少年野球、自転車、旅行、カメラ、田舎暮らし、カラーコーディネート、食べ歩き、酒、語学、美術、映像……驚くほど多彩な趣味が披露され、しかも精神的に取り組んでいる様子だ。年齢も二〇代から五〇代までと幅広い。始業時から終業時までには仕事に集中するが、夜間や休日はこうした趣味の世界に身を投げ出してリフレッシュするさわやかな群像が目に見えて浮かぶ。

豊かさとは「可処分時間があり、自分の好きなことにその時間を使えること」と定義づけできる。昔の日本人は食べるために働いて一日が終わったが、今は衣食住の安定がすでに日常の前提にあり、そのうえで「さて何をするか」と考えられる余裕に恵まれている。派遣社員、パートといった働き方も多く、生活実感には明暗もあるに違いないが、この調査結果をひも解いて、中小企業で働く人々の心の糧が多彩であり、伸びやかな心模様が現場でのモチベーションを支えていることが改めて浮き彫りとなった。

わ行

小野 壽一
(株)南部美人、
小島 亜紀子
(株)ルーツ、
谷内 貴之
(株)田辺鉄工所



渡邊 裕子
(株)ネットヨタ
南国(株)



和田 仁
久安重機運輸(株)



吉谷 清美
丸吉日新堂
印刷(株)



吉野 富美子
(株)大友楼



吉田 好宏
(株)カヨウ



吉住 誠司
(株)エルテックス・
ヨシダ



山本 耕平
(株)ヤマト醤油味噌



山根 幸司
(株)エブリシング

ほそい・まさる 1954年、金沢市生まれ。20年にわたり新聞
せよ!」(いずれもPHP研究所)、「稚拙なる者

な著書に『加賀屋の流儀』『遺贈者を救助